R&Dフェーズ｜開発　**実用化時期**｜FY27-

Mehr Licht!
More Photonics for Intelligence

#A07

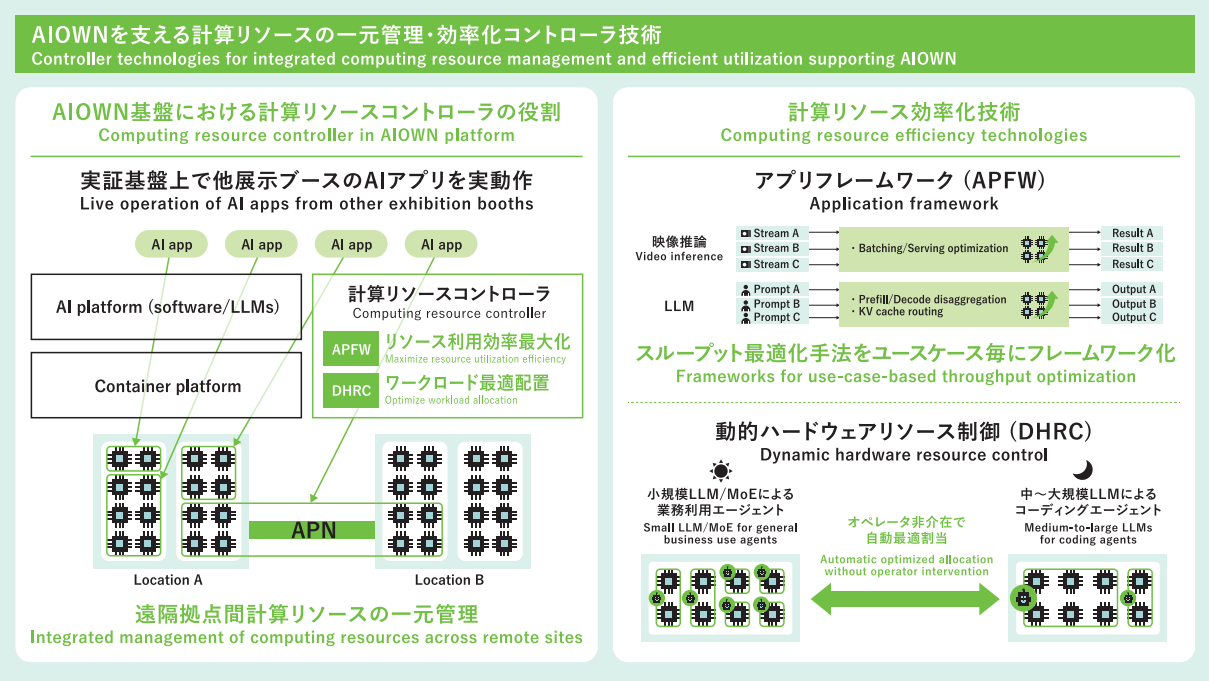
#AI・光量子基盤#DX・AX(デジタル変革)#カーボンニュートラル

AIOWN計算リソース最適化制御技術

計算リソースを効率的に活用し電力・コストを削減します

技術課題・ゴール

生成AIの急速な普及と利用拡大に伴い、学習・推論処理に必要となるGPU需要の急激な増大に対応するために計算リソースを一元的かつ最適にコントロールします。需要変動に応じて計算リソースを柔軟かつ動的に割り当てる動的ハードウェアリソース技術を構築するとともに、アプリケーションフレームワークを通じてソフトウェアによる計算リソースの利用効率を最大化し、AIOWNの省電力化と運用コストの最適化をめざします。



技術ポイント

要素技術

・複数拠点の計算リソースを一元管理し、AI処理に応じて動的に割り当てる技術
・AIアプリケーションのスループットを効率化する制御技術

市中技術差異点

・複数拠点の計算リソースを動的に配分し、利用率を高めます
・設備削減、省電力化、運用コストと開発工数の削減に寄与します

適用ビジネス/ユースケース

情報技術

ソブリン性・セキュリティ性が求められるAI基盤を、オンプレミス環境で最小限のGPUにより構築を実現可能とし、複数データセンタの計算リソースを効率利用し、AI・GPUサービス基盤の低コスト化と高可用化を支援。

出展組織

NTT株式会社 コンピューティングテクノロジーセンタ